

【男鹿市】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

本市の目指す子ども像「ふるさと男鹿を愛し、確かな学力、豊かな人間性、たくましい心と体を持ち、ふるさと男鹿の未来を担う子ども」の実現に向け、GIGAスクール構想の下、児童・生徒の情報活用能力及び教員のICT活用指導力の向上を図り、各教科等におけるICTの活用を推進する。

2. GIGA第1期の総括

本市では、令和2年度に1人1台端末の整備や校内Wi-Fi環境の整備を行い、令和3年度には自宅への持ち帰りに対応できるようインターネットフィルタリングの整備を行った。令和4年度には電子黒板の整備及び学校ICT支援員の配置を行い、その後も授業支援ソフトを導入するなど、学校でのICT機器を活用して授業を行う環境が整った。

また、令和3年度から3年間、「ICTを活用した授業改善支援事業」を実践した小学校を中心に、ICTを効果的に活用した学習過程を研究・共有するとともに、各教科等での主なICTの活用例も作成した。「自分の考えをもつ」場面と「友達と学び合う」場面を合わせて「問題を解決する場面」と捉え、授業の流れが細切れにならずに、児童・生徒が互いの学びをリアルタイムで共有しつつ、自分のタイミングでいつでも個別最適な学びと協働的な学びを往還することが可能になった。さらに、全小・中学校の共有フォルダに実践事例等を多数保存して共有することにより、各校における積極的な活用を促した。

3. 1人1台端末の利活用方策

学校間における1人1台端末の利活用に差が生じることがないように、上記で培った成果を市内各校で共有し、より多くの教員の実践につなげていくことに努め、市教委だよりや研修会等を通して教員へ取り組み事例の共有を行うなどICT教育レベルの底上げを行う。

今後想定される学校全体での端末利用や教職員の校務支援システム運用などにより、校内ネットワーク負荷が大きくなることに対しては、最適化するとともに、新たに導入される端末においても一人一人が適切に利用できる環境整備に努める。